

第8回高知大学

物部キャンパスフォーラム

高知の多様な自然に学ぶ

～身近な生きものから見る農林水産業～

高知の自然を今一度見直したく申し候

日時：12月18日（土）13：00～17：00

場所：高知大学物部キャンパス（農学部5-1教室）

参加：無料（事前申込み不要、無料駐車場あり）

試食コーナー（14：00頃を予定）

- ・米の食べ比べ（本学ミルキークインと他品種）
- ・アユの試食

農学部農場の生産物販売（13：00～）

主催・物部キャンパスフォーラム実施委員会

後援・高知県、南国市、高知市、大豊町、香南市、

香美市、南国市教育委員会、高知県商工会議所連合会、

高知県農業協同組合中央会、高知県森林組合連合会、

高知県漁業協同組合連合会、高知県園芸農業協同組合連合会



ごあんない

今年には国連の生物多様性年です。また10月には名古屋で生物多様性条約第10回締約国会議（通称COP10）が開かれるなど、生きものの多様性について関心が高まった年でした。物部キャンパスフォーラムでは、これまでの数年間、高知の農林水産業を元気にするためにはどうしたら良いかについて考えてきました。言うまでもなく、農林水産業の基本は豊かな生物の多様性です。今年のフォーラムでは、高知県を中心に、目に見えない微生物から動物まで、さまざまな生きものの多様性について、学んでいきたいと思えます。また、人間が創りだした多様性であるコメの品種について体感していただくために、食べ比べも企画しています。生きものの多様性について、農林水産業関係者はもとより、一般の皆様にも興味を持っていただけるよう、多くの方の参加をお待ちしております。

プログラム

■ 講演（13：00～16：00（各講演約25分））

「狸 雑学」

四国自然史科学研究センター センター長 谷地森秀二

「米の美味しさ、田んぼの「美味しさ」」

有限会社高生連 代表 松林 直行

「住む場所で変わる魚の性質」

農学部 海洋生物生産学コース主担当 教授 關 伸吾

「ハダニの果てしなき戦い ～天敵と植物が生み出す生物多様性～」

農学部 自然環境学コース主担当 准教授 伊藤 桂

「海の底の下に住む微生物たち ～地球最大の暗黒生命圏の謎に迫る～」

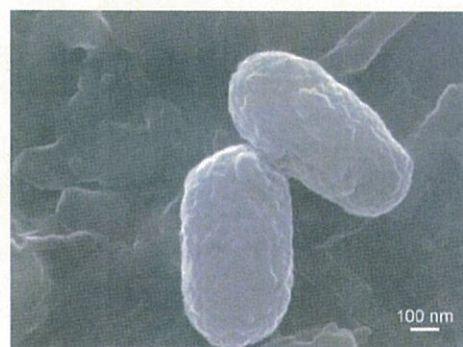
海洋研究開発機構高知コア研究所 研究員 諸野 祐樹

■ パネルディスカッション（16：00～17：00）

会場の皆様のご意見もお聞きしながら、講演講師と司会者によるディスカッションを行います。

司会：大西 知子（サイエンスコミュニケーター）

パネリスト：谷地森 秀二、松林 直行、關 伸吾、伊藤 桂、諸野 祐樹



お問い合わせ先

高知大学 総務部 教員支援課 物部室（〒783-8502 南国市物部乙200）

電話：088-864-5112, 5114 FAX：088-864-5200 Eメール：sk31@kochi-u.ac.jp